

2026年9月14日

イオン株式会社

岩手県金ケ崎町に「イオン岩手FDC※¹」を開設 **物流インフラの再構築と非常用発電設備の導入により物流体制を強化**

イオンは、災害や設備障害などの有事においても安定的に商品を提供できる強固な物流体制を実現するため、「イオン岩手FDC（岩手県胆沢郡金ケ崎町）」を開設します。

これまでは「イオン東北RDC（宮城県黒川郡大和町）」が東北全域のハブ拠点となっていました。イオン岩手FDCへ在庫機能を分散させることで、有事においても商品供給を維持できるバックアップ体制を構築します。加えて、非常用発電設備を設置し、停電時においても東北エリア全体の物流体制を維持します。

<「イオン岩手FDC」を起点とした具体的な取り組み>

➤ 有事を想定した物流体制の強化

- ・非常用発電設備を設置し、物流停止リスクを低減
- ・東北エリアの在庫拠点（ハブ拠点）を2拠点とし、バックアップ体制を構築

➤ サプライチェーンの最適化

- ・物流拠点・機能の再配置により、センターから岩手県内の店舗までの配送距離を58%削減
- ・物流DX化により、在庫型商品の出荷生産性を40%向上

イオン岩手FDCは、物流体制の強化だけでなく、配送距離の削減、DX化によるサプライチェーン全体の最適化によって、イオンの目指す将来的に安定的かつサステナブルな物流を推進します。

※1：FDC（Front Distribution Center）は、ケース商品の入出荷/在庫機能を有するセンター

<主な設備>

◆ 非常用発電機

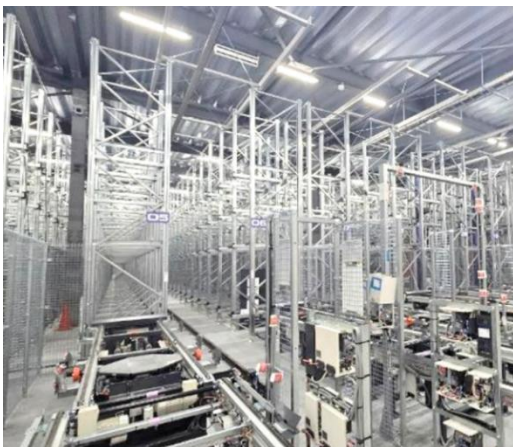


停電時は燃料で発電し、冷蔵・常温設備を稼働



燃料は3万L（センター稼働72時間相当）を備蓄し、タンクを地中に設置（※工事中の画像）

◆ パレット自動倉庫



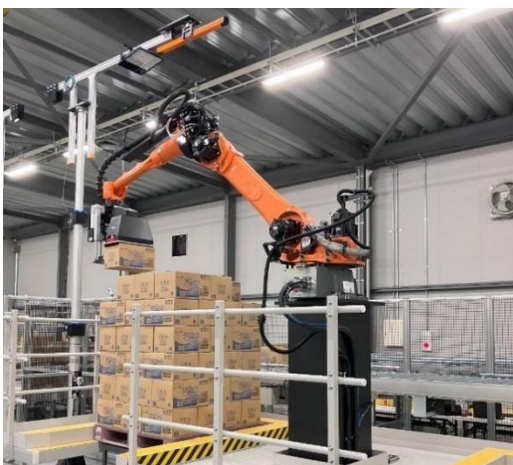
パレット単位の商品をクレーンにて自動搬送し、ラックへの自動格納および自動出荷

◆ パレットAGV（自動搬送機）



自動倉庫への入荷搬送およびデパレームロボットエリアへの出荷搬送

◆ デパレームロボット



AGVで搬送された商品をコンベアへ自動投入

◆ ケース仕分けソーター



お取引先さまからの入荷商品やロボット等で出荷した商品を店別に自動仕分け

【センター概要】



名 称：イオン岩手FDC

所 在 地：岩手県胆沢郡金ケ崎町六原後平2-2

プロロジスパーク北上金ケ崎内 B-D区画

賃借面積：38,822.83㎡（11,744坪）

稼働日：低温エリア（1階）：2026年10月 7日

常温エリア（1～2階）：2027年 2月23日（予定）